



高原を元気いっぱい駆け回る

—前日光牧場で牛の放牧—

(前日光牧場管理組合)

6月7日・8日、標高1,300メートルの前日光牧場(横根高原)で牛の放牧が行われました。

夏場の暑さ対策のほか、高低差のある広い牧場内で運動量を増やすことで、牛の心肺機能や足腰の強化を目的としています。今年は、和牛や乳牛計39頭を放牧。「草の状態もよく、牛にとって抜群のコンディション。10月末に大きくなって各農家さんの元へ帰ってほしい」と酪農家の皆さんは目を細めていました。

市民の応援に感謝

—「宇都宮ブレックス」市長表敬訪問—

6月14日、本市とマザータウン協定を結ぶ男子プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」の田臥勇太選手らが訪れ、シーズン終了を報告しました。

今シーズンのブレックスはリーグ東地区で優勝。チャンピオンシップ決勝では、激しい攻防戦の末、惜しくも準優勝という結果となりましたが、その白熱した試合は、多くの人達の心に響いたことでしょう。



交通事故のない安全なまちに

—横断旗寄贈—

6月16日、市役所を訪れたこくみん共済coop栃木推進本部の熊谷武寛課長らより、横断旗110本の寄贈を受けました。

この取り組みは、同coopの「7才の交通安全プロジェクト」の一環として、全国的に行っているもの。頂いた横断旗は、通学時など、地域の交通安全に活用していきます。





子どもたちがプロの技術学ぶ

—和久井秀俊サッカースクール—

6月30日、サンエコ自然の森サッカー場で、海外プロサッカー選手として長く活躍をし、かぬまふるさと大使を務める和久井秀俊氏によるサッカースクールが開催されました。

市内の小・中学生を対象に、各回約1時間にわたって行われた本サッカースクール。

和久井氏の熱の入った指導の下、汗を流す子どもたちの掛け声が賑やかに響き渡りました。

大雨の時期を万全に迎えるために

—土砂災害危険箇所点検—

6月17日に、県・市・鹿沼警察署の合同により、土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所、砂防施設の点検を実施しました。

毎年6月は「土砂災害防止月間」として、災害防止のための取り組みを強化していますが、本点検もその一環として行われるもの。

参加者13人が急傾斜地および土石流危険箇所、市内計4カ所を巡り入念なチェックを行いました。



2年ぶり開催 アリーナに白球飛び交う

—平野早矢香杯卓球大会—

6月19日に、TKCいちごアリーナで第9回平野早矢香卓球大会が開催されました。

参加者を栃木県内に限り、新型コロナウイルス対策に万全を期した上での開催となった今大会。

開会式で平野さんの激励を受けた約200人の小中学生たちが白熱した試合を繰り広げました。